

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区赤羽 3-23-7
園名	岩淵保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・季節ごとの自然に遊びを通して触れる。

<テーマの設定理由>

・保育園の周りにたくさんの公園や土手があったり、園庭にも花壇があり、身近に自然に触れられる機会が多いため、子ども達も興味を持ちやすい。

2. 活動スケジュール

・近隣の散歩先で季節ごとの自然に触れる。また拾ったどんぐりを使い、マラカスを作って遊んだり、どんぐりを使い製作をする。

・夏は暑く散歩に出られない為、園内にて泥んこ遊びや氷に触れる

春：桜・梅の木
夏：水・氷・泥んこ遊び
秋：どんぐり拾い→マラカス、製作 いちょうなど落ち葉遊び
冬：雪遊び

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

・季節を感じられる散歩先に行く。

・自然が身近に感じられるように、自然がテーマの絵本を読んだり、子ども達が自ら手に取れるように絵本棚に取り入れたりした。

・絵本「はるかぜさんぽ」「さんさんさんぽ」「あめふりさんぽ」「あきぞらさんぽ」「ゆきみちさんぽ」「どんぐりくりくりおともだち」 ・マラカス用の R-1 のボトル

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 戸外散歩による戸外活動。
- ・ 季節を感じられる自然物に触れる。
- ・ 落ち葉を踏んだりちぎったりし、感触や音を楽しむ。
- ・ どんぐりの観察し大きさの違いに気付く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ はじめは草花に触れるのを躊躇っていたが、保育者が触れる所を見せるとそっと手を伸ばし触れることができた。
- ・ 落ち葉遊びでは、降らせて遊んだりちぎったり踏んでみると音がするのに「パリパリ聞える」と気付き喜んでいた。
- ・ どんぐりに絵の具をつけて転がして模様を付けると子どもたちから「どんぐりころころ」と歌う様子があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

自然に触れる機会が多い保育園ならではの遊び方ができたと思う。同じ素材でも子どもによって感じ方やそれを表す言葉・音が違い、表現の仕方がいろいろあるなど感じた。自然に触れる機会を多く取り入れたので、お散歩に行くことを伝え、行き先を伝えると「どんぐりあったよね」「どんぐり拾いたい」「お花咲いているかな」と行った場所での見た物、経験したことを子どもから話すことが増えた。